

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域共生、住みよい社会をつくる 2018 地域から ワークショップ
事業主体 (連絡先)	茅野市民生児童委員協議会 会長 戸田 允文
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	899,919 円 (うち支援金 : 674,000 円)

事業内容

地域住民の生活のしやすさへの「気づき」のキッカケづくり、必要な知恵の研鑽の場において、地域住民の主体的活動の出発点とした。

参加者：560名

講演：鎌田實先生、篠原菊紀先生の両氏

シンポジウム：鎌田實先生、篠原菊紀先生、地域代表
支え合いマップ、コミュニケーションネットワークづくりへの実践に向けてのキッカケ、受け止めを確認できた。



【講演の様子】

【目標・ねらい】

- ① 地域住民の主体的参加による知恵の発
- ② 支え合いマップ作成への協働
- ③

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 支援金を活用して、地域共生の「受け手」「支え手」の極限を超えての「気づき」を知恵、行動に移すキッカケづくりができた。
2. 地域住民主体的行動に、支え合いマップとコミュニケーションネットワークの重要性に「気づき」地域住民との協力の重要性を確認できた。

※自己評価【 B 】

【理由】

参加者の評価もよく、事業内容を精査し、これからの作業に十分役立てを要素を取り込める内容となった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地区ごとは、支え合いマップの作成を継続し、地域住民のもつ情報を主体的に取り組む、災害時にもの発掘できる協力体制をつくり込んで行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある